

# 鹿児島県漁海況週報

平成26年5月8日発行(5月1日～5月7日)  
第2555号【旧暦:4月3日～4月9日/月齢1.9～7.9/潮汐:中潮～小潮】



鹿児島県水産技術開発センター  
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号  
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

## 【海況】

### ○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、5月6日現在、屋久島御崎の南5.9マイル付近にある。

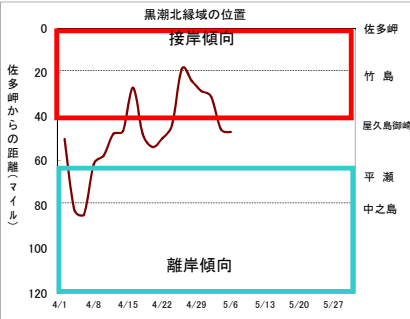
### ○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、5月6日現在、63マイル付近にある。

### ○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、鹿児島、与路島、甌海峡で0.2～0.9℃昇温し、その他の海域で0.1～1.4℃降温した。

平年比較では、与論で“著しく低め”、黒潮流域、中之島で“かなり低め”、佐多岬、竹島、笠利崎、与路島で“やや低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	24.1	-0.1	-0.9	かなり低め
鹿児島	19.1	+0.5	-0.6	平年並
佐多岬	19.8	-0.5	-0.8	やや低め
竹島	21.1	-1.4	-0.7	やや低め
屋久島御崎	22.4	-0.7	-0.6	平年並
中之島	23.1	-0.2	-1.4	かなり低め
笠利崎	22.5	-0.8	-0.6	やや低め
与路島	22.1	+0.9	-0.7	やや低め
与論	20.7	-0.3	-2.5	著しく低め
甌海峡	19.8	+0.2	-0.1	平年並

鹿児島一那覇定期客船観測は5/6～7  
串木野一甌定期客船観測は5/7

## 【漁況】

### ○定置網

甌島海域では、1日のみブリ(5kg)が130尾、ミノ(1～2kg)が200尾の入網。西薩南部海域では、多い日でアカカマス(100g)が1トン、ブリ(2～7kg)が1.2トン、ヒラサ(4kg)が600kg、トビウオ(200g)が300kgの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、マシ(150～200g)が0.6～3.8トン/日、ブリ(5～7kg)が0.3～1.2トン/日、ヒラサ(4～6kg)が0.5～1.9トン/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、多い日でブリ(6～7kg)が120尾、ハカヅ(1～1.5kg)が150kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で32統がサハ類小、マシ小、カクチイワシ主体に87トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でマシ、カクチイワシ、ブリ主体に29.3トンの入網。熊毛海域では、1日のみシイラ(4～5kg)が1.2トンの入網。

### ○キビナゴ刺網

甌島海域では、3～12箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、20～30箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、10～20箱/隻・日の漁。

### ○トビウオロープ曳網

屋久島海域では、1日のみ中トビを62～209箱/統、中トビを22～35箱/統、小トビを7～35箱/統の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

### 業種別・漁港別水揚げ状況

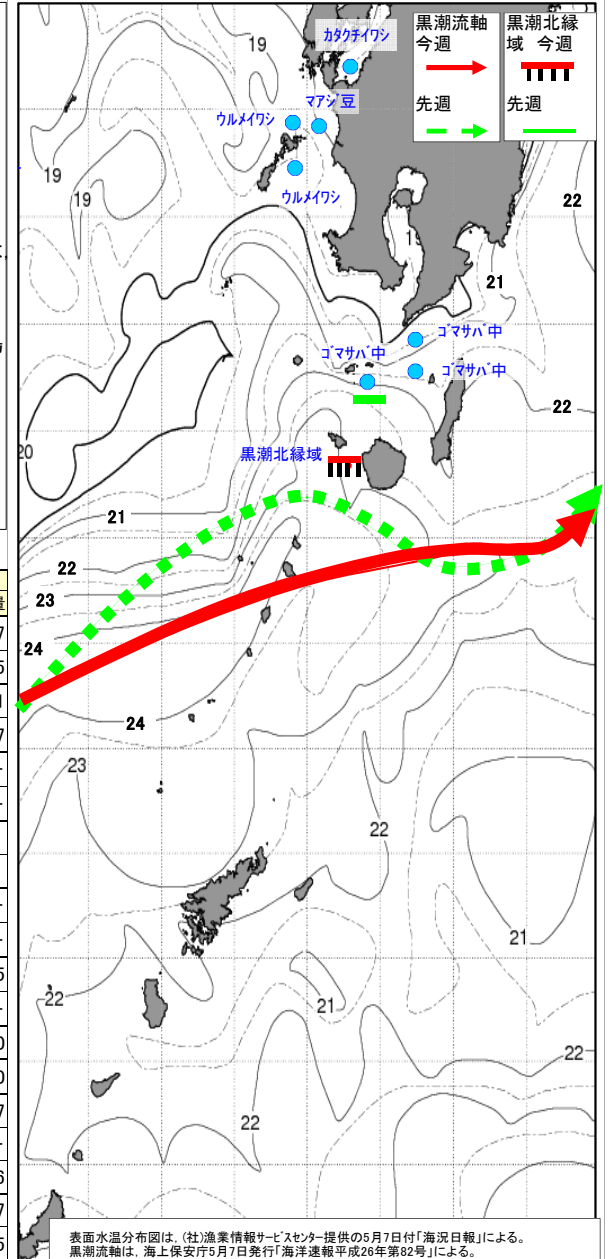
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2506報)					
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—	—	—	4	100	3	37	
		中	5	27	縄瀬 甌東川内沖 長島	ウルメイソ71 マシ豆8 カクチイワシ7	5.3	4	10	30	375
	枕崎	大	3	102	馬毛島 佐多沖	ゴマサハ中98	33.8	6	303	6	291
		中	12	508	馬毛島 竹島	ゴマサハ中92	42.3	18	621	29	677
	内之浦	中	0	—	—	—	—	0	—	—	
	山川	中	0	—	—	—	—	0	—	—	
計	大	3	102	—	—	33.8	10	402	9	328	
	中	17	534	—	—	31.4	22	631	59	1053	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	1	184	—	マサハ豆81 ゴマサハ豆9 マサハ中5	184.3	1	129	0	—	
棒受網	阿久根	16	27	阿久根沖 長島	カクチイワシ87 キビナゴ10	1.7	12	13	59	215	
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	32	87	—	サハ類小36 マシ小30 カクチイワシ20	2.7	48	82	53	50	
刺網	阿久根	大	0	—	—	—	0	—	2	867	
		小	3	23	—	カツオ小92 キハダ6	7.7	0	—	0	—
カツオ竿釣・海外旋網	海旋	0	—	—	—	—	3	1,561	1	746	
	山川	中	1	11	—	カツオ小70 キハダ14 マハチ12	11.4	1	3	6	57
	海旋	0	—	—	—	—	0	—	2	705	

## ○モジャコ漁業

4月10日の操業開始以降堅調な漁が続き、5月2日に予定どおり終漁した。県全体で目標数量の約9割に達した。

## ○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(1～1.5kg)を20～100kg/隻・日、チダイ(200～400g)を10～70kg/隻・日の漁。刺網でチダイ(200～300g)を10～20kg/隻・日、コウカ(1～1.5kg)を10～50kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマダイ(0.4～2kg)を30～50kg/隻・日、チダイ(200～300g)を10～30kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣りでゴマサハ(600～700g)を多い日で14～15kg/隻の漁。潜水器でトサカリを300kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、刺網でアカカマス(200～300g)を100kg/隻・日、アオリイカ(1～1.5kg)を10～15kg/隻・日の漁。種子島海域では、素潜りでトコブシ(50～70g)を4～5kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りで多い船でゴマサハ(500～600g)を200尾/日、ハカヅ(1.5kg)を50尾/日の漁。奄美南部海域では、延縄の3日操業でナンヨウキン(1～2kg)を30～160kg/隻、ムツ(1～8kg)を100～200kg/隻、マダイ(4～6kg)を60～140kg/隻の漁。旗流しの4日操業でソデイカ(胴体のみ10kg)を400～500kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の5月7日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁5月7日発行「海洋通報平成26年第82号」による。